

「わしの分まで生きてちょんだいよオー」 ～井上ひさし「父と暮せば」によせて

仙台市太白図書館
村上 佳子



2011年、大震災という大きな大きな出来事がありました。

この地域に暮らす全ての人が、それぞれの3.11を体験したことと思います。地震直後はもちろんのこと、いまでも友人知人に会うと、「あの時」をいかに過ごしたかが話題になり、悲喜こもごも話が尽きません。

勤務先の図書館は、数万冊の図書の散乱に加えガラス壁の損壊などの被害を受け、再開までに2ヶ月近くを要しましたが、人的な被害は無く現在は日常にもどっております。



震災により散乱した太白図書館の図書

沿岸部の被害を思うと簡単に言葉にすることが躊躇われますが、今回は、生き残った者の魂の再生の物語ともいえる、井上ひさしの「父と暮せば」をご紹介します。

「青葉繁れる」「吉里吉里人」などで知られる井上ひさしは、高校時代を仙台で過ごしたゆかりから、仙台文学館の初代館長を務めました。2010年4月に、肺がんにより75歳で他界してしまいましたが、10年以上にわたり文学館での仕事をご一緒することができました。

「父と暮せば」の初演は20年近く前の1994年。以来、日本各地はもとよりアメリカ、ロシア、中国、フランス、イギリス、ドイツなど世界各国で上演を重ねている「劇作家・井上ひさし」の代表作です。

震災後の8月、文学館の企画で仙台でも上演することができました。予定していた会場は震災により使用することができませんでしたが、奇跡的に仙台市中心部の電力ホールに1日の空きができて、上演が可能になったとのことでした。

昭和23年の広島を舞台とする、父と娘のふたり芝居『父と暮せば』。

愛する家族や友人たちを原爆で失いひとり生き残った美津江は、「生きていることが申し訳ない、自分が幸せになっては亡くなった皆に申し訳が立たない」と、ひっそりと暮しています。勤務先の図書館を訪れた青年との恋からも身を引こうとする美津江。そんな娘へのやむにやまれぬ思いから、父・竹造が登場します。実は、もはやこの世の人ではない竹造は「娘の恋の応援団長」を自認し、あれこれと世話をやきます。原作を読まずに初めてこの作品を観たときには、しばらくの間、竹造が幽霊であることに気づきませんでした。想い想われているのは確かなはずの二人の恋のゆくえと、しだいに明らかになっていく美津江の心の底にある罪の意識。

「あんときの広島では、死ぬるんが自然で、生きのこるんが不自然なことやったんじゃ。そうじゃけえ、うちが生きとるんはおかしい。」

広島弁で語られる美津江の胸のうちが心に響いてきます。

そして、焼き崩れた家の下敷きになっ

た父の渾身の叫び。

「わしの分まで生きてちょんだいよー」

父の願いが、ついに娘を絶望のふちから救い出し、生への歩みを甦らせます。

原爆投下後の広島で生き残った主人公の、幸せな恋を求める心と亡くなった者への贖罪と絶望の心情を、一人二役ならぬ二人一役で演じられるこの作品は、観る者すべての心を打ち、仙台でも会場は感激の嵐でした。

震災後半年もたたない時期の上演とすることで、辛すぎるのではないかとの懸念もあったようですが、むしろそのような時だからこそその思いが実ったのではないのでしょうか。

私も、ひとりの知人にこの芝居のチケットを送りました。彼は、津波で妻と中学生と小学生になる二人の娘を亡くしていました。会場に足を運んでくれた彼から、後日届いた手紙を、勝手ながら少し紹介させていただきます。

——幕が降りて最初に頭に浮かんだのは「希望」という言葉でした。それから、暗く深い闇の中にいる私にもいつの日か光が届く日が来るかもしれないという思いももたらしてくれました。

また、亡くなった人達も目には見えないだけで、ちゃんと私達の近くにいてくれるのだと気づかせてくれました。自分一人ではないのだと思うと、少し気持ちを強く持てそうな気がしています…… ——

「父と暮せば」は、宮沢りえ、原田芳雄の主演で映画化されており、現在はDVDで観ることもできます。

井上作品には、他にも死者が登場する物語があります。座長を務めた「こまつ

座」の旗揚げ公演「頭痛肩こり樋口一葉」や、藤原竜也の主演で評判となった晩年の作品「ムサシ」もそうです。そして何よりかつての人気テレビ番組の「ひょっこりひょうたん島」は、火山の噴火で死んだ子どもたちが漂流する物語でした。

私には、井上ひさしを失った喪失感のようなものがあり、震災後も、「ひさし先生ならなんと言うだろう」などとよく考えました。そして今、没後出版された本や昔の作品を改めて読んでいくと、その中の言葉が新たな息吹を持って蘇ってくるように感じています。



井上ひさし『父と暮せば』 文春文庫 2001年2月



DVD「父と暮せば」 バンダイビジュアル株式会社
© 2004「父と暮せば」パートナーズ